

## 第 30 回川崎市起債運営アドバイザー・コミッティ 議事要旨

日時：平成 27 年 9 月 28 日（月）午前 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：川崎市役所第 3 庁舎 1 5 階大会議室

### 1. 開会

#### (1) 財政部長挨拶

財政部長から「平成 18 年度から今年で 10 年目になる本会合は、魅力的で信頼される起債運営に向け、継続的に市場のニーズ、動向等をフォローアップすることを目的に開催している。効果的、効率的な資金運用に努めていくため、専門家であるメンバーの忌憚のないご意見を願いたい」旨の説明があった。

#### (2) メンバー紹介

参加メンバー及び事務局員の紹介が行われた。

#### (3) 座長選出

互選による座長の選出手続き説明が行われ、手続きに則り東洋大学の稲生教授が本会合の座長に選出された。

#### (4) 座長あいさつ

「マーケットについては、債券市場はいいようであるが、株式市場はいろいろ揺れ動いているようで、債券市場にも影響がないとはいえない状況の中、川崎市の有利で安定的な調達についてご指導等をいただければ大変ありがたい」旨の挨拶があった。

### 2. 議事

#### (1) 国内外貨建て債の発行に関する検討

省略

#### (2) 平成 26 年度決算見込みの概要

##### ◆ 事務局からの説明

- ・ 決算総括の一般会計については、歳入 6,113 億円、歳出 6,073 億円、差引形式収支 39 億円。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は 1 億 8,000 万円。
- ・ 歳入と歳出の規模については、両方とも前年度を大きく上回っている。特に歳出は初めて 6,000 億円を超えた。
- ・ 歳入の決算の状況については、歳入決算額 6,113 億円で、前年度と比べ 319 億円、5.5% の増。主に市税の増。消費税率の引き上げに伴う交付金の増など。

- ・ 市税の状況については、市税の決算額は対前年度で 75 億円、2.6%の増で、2 年連続で増収。決算額は過去最高。特に個人市民税が 19 億円、法人市民税が 20 億円など大幅な増加。
- ・ 市債の状況については、平成 26 年の発行額は 642 億円で、前年度と比べ 106 億円、19.9%の増。これは臨時財政対策債が減となったものの、等々力陸上競技場の整備などによるものが大幅な増となったことから大きく増えている。平成 27 年度予算は例年通りの規模となっており、平成 26 年度が大きく増加をしている。残高については、前年度と比べて 240 億円増の 1 兆 246 億円。減債基金控除後の実質的な残高は 8,567 億円で、前年度に比べて 84 億円の増。
- ・ 性質別歳出決算の状況については、義務的経費は 3,186 億円で構成比は 1.6 ポイント減の 52.4%。投資的経費は 913 億円で構成比は 2.1 ポイント増の 15.1%。その他経費は 1,973 億円で構成比は 0.5 ポイント減の 32.5%。
- ・ 義務的経費のうち人件費と公債費については、金額、構成比とも減となっているが、扶助費は対前年度 104 億円増の 1,559 億円で、構成比も 25.7%と、0.4 ポイントの増。
- ・ 健全化指標の状況については、どの指標も早期健全化基準はクリアしている。尚、実質公債費比率は 8.2%で確定。将来負担比率も 115.3%と確定。
- ・ 決算の状況としては、市税収入は堅調に増加しているが、子供・子育て施策の充実などにより扶助費が増加傾向にあり、そういったここ数年の傾向が平成 26 年度も継続している状況。
- ・ 経常収支比率については、平成 26 年度決算が 99.7%と再び 99%台になってきた。

◆ 上記について、メンバーと川崎市側で以下のような質疑応答、意見交換があった。

(以下、メ：メンバー、市：川崎市)

メ：健全性の高い市と見ていたが、扶助費が伸びている。これは全国的にそうであって、まだこれから人口も伸びていく川崎市は子供関係のところに力を入れているので、これはこれでそういうものだろうと思う。

メ：川崎市の一番の魅力は人口、特に若い世代の人口の流入が多いということ。それに伴う費用や、そういった中長期的な戦略に立って考える費用というのは、また将来にわたっての税金を生む要因でもあり、プラスとマイナスの面両方あると思うが、うまくかじを取ってやっていただきたい。

メ：実質公債費比率とかいったもろもろの比率は平均値を大幅に下回っており、良好な数字だと見ている。いろいろな特性、戦略、そういったものが反映されたがゆえに一部経常収支比率等は高いと思うので、今回の説明のような内容を今後、投資家セミナーのような IR を通じてあらためて説明できれば非常に安心感が得られる。

### 3. 閉会

次回の全体会議は 2 月に開催予定（日時未定）との報告があった。

<会議終了>